

政務活動費集計表(会派支出) R7年度

会派名 新 友 会 8月分

(単位:円)

研 究 研 修 費	調 査 旅 費	資 料 作 成 費	資 料 購 入 費
768,510	373,430	11,735	0
広 報 ・ 広 聴 費	人 件 費	事 務 所 費	そ の 他 の 経 費
9,416	486,850	25,190	71,110
合 計			1,746,241

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支 払 日	✓ 令和 7年 8月 12日			
支 払 先	市川和彦／松田光平／桜井 篤／箱山正一／西脇かおる／本木 晋			
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	会 費	第20回全国市議会議長会研究フォーラム 参加費(@¥9,000×6名分)	54,000円
	研 究○修 費		振込手数料	880円
	調 査 旅 費			
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その他の経費			
合 計				54,880円
(領収書添付欄)				

電信扱

収入印紙
1. 現金・小切手
200円貼付
2. 振込金手数料が
5万円未満非課税
3. 非課税
4. 長野市店に本人来ての場
合はすべて200円貼

長野市議会
市川 和彦 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-004-3996051-0
発行日 2025年8月7日(木)
取引年月日 2025年8月27日(水)～2025年8月28日(木)

請求書

〒060-0001
北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階
株式会社JTB 北海道事業部
事業部長 大川 正勝

第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2025年8月15日(金) までに、お支払いくださいますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
フォーラム参加費	1	¥9,000	対象外
合 計 (うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額 ¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】みずほ銀行

【支店名】

【預金種別】

【口座番号】

【口座名義】株式会社JTB
か) ジェイティビー

【お客様番号】

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

長野市議会
松田 光平 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-004-3996051-2
発行日 2025年8月7日(木)
取引年月日 2025年8月27日(水)～2025年8月28日(木)

請求書

〒060-0001
北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階
株式会社JTB 北海道事業部
事業部長 大川 正勝

第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2025年8月15日(金) までに、お支払いくださいますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
フォーラム参加費	1	¥9,000	対象外
合 計 (うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額 ¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 みずほ銀行

【支店名】

【預金種別】

【口座番号】

【口座名義】 株式会社JTB
カ) ジェイティービー

【お客様番号】

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

長野市議会
桜井 篤 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-004-3996051-1
発行日 2025年8月7日(木)
取引年月日 2025年8月27日(水)～2025年8月28日(木)

請求書

〒060-0001
北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階
株式会社JTБ 北海道事業部
事業部長 大川 正勝

第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2025年8月15日(金) までに、お支払いくださいますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
フォーラム参加費	1	¥9,000	対象外
合 計 (うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額 ¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 みずほ銀行

【支店名】

【預金種別】

【口座番号】

【口座名義】 株式会社JTБ
か) シェティビー

【お客様番号】

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

長野市議会
箱山 正一 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-004-3996051-4
発行日 2025年8月7日(木)
取引年月日 2025年8月27日(水)～2025年8月28日(木)

請求書

〒060-0001
北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階
株式会社JTБ 北海道事業部
事業部長 大川 正勝

第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2025年8月15日(金) までに、お支払いくださいますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
フォーラム参加費	1	¥9,000	対象外
合 計 (うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額 ¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 みずほ銀行

【支店名】

【預金種別】

【口座番号】

【口座名義】 株式会社JTБ

【お客様番号】

か) ジェイティビー

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

長野市議会
西脇 かおる 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-004-3996051-3
発行日 2025年8月7日(木)
取引年月日 2025年8月27日(水)～2025年8月28日(木)

請求書

〒060-0001
北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階
株式会社JTБ 北海道事業部
事業部長 大川 正勝

第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2025年8月15日(金) までに、お支払いくださいますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
フォーラム参加費	1	¥9,000	対象外
合 計 (うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額 ¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 みずほ銀行

【預金種別】

【口座名義】 株式会社JTБ
カ) ジェイティービー

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

長野市議会

本木 晋 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-004-3996051-5
発行日 2025年8月7日(木)
取引年月日 2025年8月27日(水)～2025年8月28日(木)

請求書

〒060-0001
北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階

株式会社JTB 北海道事業部
事業部長 大川 正勝

第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

2025年8月15日(金) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
フォーラム参加費	1	¥9,000	対象外
合 計 (うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 みずほ銀行
【預金種別】 当座
【口座名義】 株式会社JTB
カ) ジェイティービー

【支店名】
【口座番号】
【お客様番号】

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

行政視察報告書 (No.1)

令和 7年 9月 7日

代表者 寺沢 さゆり 様

報告者氏名(代表): 桜井 篤

次のとおり、視察をしましたので関係書類を添えて報告いたします。

1. 視察者氏名

宮崎 治夫	松田 光平	桜井 篤	箱山 正一
西脇 かおる	本木 晋		

2. 視察期間

令和 7年 8月 27日 ~ 令和 7年 8月 28日

3. 視察先・視察事項・選定理由

視 察 日 時	視 察 先	視 察 事 項 及 び 選 定 理 由
令和7年 8月 27日 13:00 ~ 17:00 令和7年 8月 28日 9:00 ~ 11:30	北海道札幌市	第20回全国市議会議長会研究フォーラムに参加

＜視察先＞ 北海道札幌市 令和7年8月27日～28日
「第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌」

◎基調講演 「主権を預かる誇りと責任」

◆衆議院議長 伊吹 文明氏

国会議員と地方議会議員の違い、首長と地方議会議員は車の両輪で議論しながら地域振興を図っていくなど、これまでの長い国会議員の経験や実績について、約1時間にわたって講演をいただいた。

◎パネルディスカッション

「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」

◆コーディネーター

辻 陽氏 [近畿大学法学部教授]

○地方議員のなり手不足問題

- ・地方議会・議員に対する無関心、もしくは不信が広がる現況
- ・地方議員選挙における投票率の低下
- ・ここ数回の統一地方選挙では、無投票当選者や定員割れが顕著に増加
- ・令和5年地方自治法改正

第89条で地方議会の役割及び議員の職務等の明確化と地方議会にかかる手続きのオンライン化

○なり手不足問題に関する3つの論点

- ・議員の多様性や住民代表制の確保：若者や女性、会社員などが立候補しやすい環境の整備
- ・議員定数、議員報酬のあり方
- ・令和5年地方自治法改正（地方議会の役割及び議員の職務等の明確化）

○なり手不足問題の解決に向けて

- ・地方制度調査委員会や持続可能な地方行財政のあり方に関する研究会
- ・地方議会や地方議員に対する不信感が広がる中で、克服する試み
- ・自身が議員として、どのような人たちの代表と認識しているのか

■パネリスト

牧原 出氏 [東京大学先端科学技術センター]

○地方制度改革下の地方議会

- ・人口減と新型コロナウイルス感染症対策など2つの課題に対しどう対応するのか
- ・職員、議員は、技術革新への意識改革は不可欠で、常時技術革新に即応することが自治体職員、議員にとって不可欠になっていく
- ・自治体戦略2040構想研究会の見透す未来と対策
 - ・「若者を吸収しながら置いていく東京圏と支え手を失う地方圏」、「標準的な人生設計の消滅による雇用・教育の機能不全」、「スポンジ化する都市と朽ち果てるインフラ」という3つの危機
 - ・「スマート自治体への転換：現在の半数の職員でサービス供給」、「公共私の特長ミックスによる暮らしの維持」、「圏域マネジメントと二層制の柔軟化（圏域連携）」という3つの対策
- ・人口減の解決策としてのオンライン議会、自治体DX
 - ・市民との関係をすべてデジタル化するのではなく、重要な局面ではしっかりと対面で市民の問題意識を把握する必要がある。
 - ・オンライン議会では、配信において市民に分かりやすいキャプチャーを付けるなどの工夫が必要。
 - ・資料配付や住民との接点など議会活動全般のデジタル化は今後更に必要で、議員、職員が十分にデジタルへのリテラシーを持つこと
- ・オンライン議会開催の条件
 - ・練習を続ける、マニュアルの作成：面倒くさがない
 - ・通信環境の安定性とセキュリティの確保
 - ・市民への開放、わかりやすい配信
 - ・議長の議事進行能力：オンライン参加者と議場参加者とを同等に扱い進める
 - ・必要なのは、既に実施している団体から実施に際しての留意点、工夫点などの細かい情報を得て、他の地方議会と情報共有していくこと
 - ・規模の大きい自治体であればあるほど、オンライン開催やデジタル化の効用は大きいですが、規模の小さい町村は必ずしもそうとは言い切れない。

■パネリスト

白石 洋一氏 [読売新聞東京本社政治部次長]

○第20回（2023年）統一地方選を振り返る

読売新聞社が23年統一地方選を前に全国世論調査をした。地方議員のなり手不足の理由として、特にあてはまると思うもの。

1位：立候補するためにお金がかかりすぎる 2位：議員の仕事に魅力を感じない 3位：落選したら職を失う 4位：議員の仕事を知る機会が無い 5位：他の仕事との兼職が難しい

■パネリスト

山下 節子氏 [全国市議会議長会副会長 宇部市議会議長]

○多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える

- ・地方自治の根幹である二元代表制にあって、地方議会は首長と並ぶ議決機関である。人口減少が進み、地方自治体が多く課題を抱える中、施策を実効的に進めて行くには、議会にも政策提言力を備えることが必要。
- ・地方議会議員には資質、能力、意欲とも高いものが求められる。志の高い優秀な人材が市議会議員になってくれるよう、環境整備を進めていくことが急務。
- ・市議会が進めるべきことは、議会の役割や議員の仕事への関心を高める（やりがいを知ってもらう）ことと、現役世代、多様な人材が立候補しやすい環境作り。
- ・議会に対する関心と理解を深めるための宇部市の取組事例として、高校生議会は生徒達が市のまちづくりに関する質問を通告し、市長と担当部長が答弁する。
- ・事例2として、議会と学校が連携した子ども選挙の実施。現職の市議会議員4人が、小学校で開催された茂木選挙に立候補し、校内に選挙ポスターを掲示し、選挙公報も作成。立候補した議員は「地域の課題のために取り組んでいくこと」について演説し、児童は演説を聞いた後、立会人が見守る投票所で模擬投票を行なった。

■パネリスト

長内 直也氏 [札幌市議会議長]

○なり手不足問題対策としての主権者教育の取組

- ・ホームページで議場を見学した小中学生の状況を紹介
- ・子ども達に札幌市議会を自由研究にしてもらうことを提案。夏休み前に教育委員会を通じて市内の小中学校に議場見学のチラシを送付して周知
- ・小中学生向けに札幌市議会の1年間の流れが分かるチラシを作成し、議場見学で配布・説明する。さっぽろ市議会だよりにも特集記事として掲載。
- ・ほかにもHPに札幌市議会キッズページで市議会の紹介や市議会子ども教室開催
- ・今年8月には、夏休み期間中、小学4～6年生の40人が、まちづくり体験とし

て議場とテレビ局を訪問した。今後も地域や区役所等と連携して議会の役割を伝える機会を増やしていく。

◎2日目 課題討議

「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

◆コーディネーター

牧瀬 稔氏 [関東学院大学法学部地域創生学科教授]

○パネルディスカッションの内容

- ・2023年の統一地方選挙では、投票率の低下や無投票当選者の割合が高まるなど、小規模市議会における議員のなり手不足が深刻化した。
- ・若者や女性、会社員など、多様な人材の地方議会への参画を促し、議会を活性化することは、多くの市議会に共通の重要な課題である。

■パネリスト

今井 康善氏 [岡谷市議会前議長]

○議員のなり手不足と向き合う岡谷市議会の挑戦

- ・2023年の市議会議員選挙で、市では全国唯一の定員割れ（17人/定員18人）
- ・議会情報のオープン化（SNSを活用した広報、プレス発表の強化、広聴機能の充実、市民と議会とのアクセス手段などの充実）など
- ・住民の議会への参加（公民館での出張市議会講座、議場コンサートの開催）
- ・議会機能の強化（議会運営専門家によるアドバイス、サイボウズによる通知のペーパーレス化、令和7年度～タブレット導入）
- ・議員のなり手不足対策（シンポジウムの開催、市民との対話集会6回、議員定数の削減18人⇒16人）

■パネリスト

平神 純子氏 [南さつま市議会議員]

○鹿児島県内の女性議員を100人にする会の活動

- ・1996年に発足し、当時は女性議員は28人だったが、毎年セミナーやフォーラムを開催して参加者を増やしてきて、2025年4月に鹿児島県内の女性議員100人が達成した。

■パネリスト

中野 進氏 [白山市議会議長]

○みんなでギカイを考えるキカイ（MGK）

- ・未来へつなぐ議員の在り方検証委員会の設置（R3.5月）
議員の立候補環境に関すること、女性をはじめとする多様な層の議会参画に関すること、議員報酬・政務活動費に関すること
- ・議員討論会の開催（R4・5.7月）
テーマ①議員に若者や女性が少ない弊害、②選挙に出られない理由、③市民から見た議員像（議長を除く20人が4班に分かれてグループ討議を行なった）
- ・「みんなでギカイを考えるキカイ」実行委員会の設置（R4.4月）
⇒市民との意見交換「みんなでギカイを考えるキカイ」開催（R4・5.5～11月）
市内各種19団体から154人が参加 意見交換会のテーマは、①議員のなり手の確保 ②投票意識の向上 ③議員の兼業・請負の禁止 ④適正な議員報酬
- ・議員立候補環境等の改善のため政治倫理条例の一部改正（R5.3月）
親族等の請負契約を制限する努力義務を廃止し、市民への疑義を生じさせないよう努力規定を設ける改正を行ない、次期任期からの適用とする。議会でハラスメント研修を実施し、政治倫理条例にハラスメントに関する規定を明記。
- ・広報広聴委員会の充実（R5.3月）
⇒議会報告会、意見交換会を積極的に実施（R5.4月～）
R5年度 17回開催 R6年度 9回開催（改選期のため少なかった）

【所 感】

- ・全体のテーマが「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」であったため、本市のここ2回の選挙における多数候補立候補の現状とは少しかけ離れたものとなっていた。
- ・全国的な傾向としても、無投票率が高いのは都道府県議会議員選挙と町村議会議員選挙で、市議会議員選挙においては無投票率は拡大しているものの低水準となっており、指定都市議会議員選挙は近年改善している。
- ・規模の小さい市議会になるほど、なり手不足が顕在化しつつあり、無投票率が高い傾向にある。
- ・都道府県議会議員選挙の場合は、「勝てる見込みがない」ため、出馬することを控える傾向が強く、対抗馬が現れずに無投票となる諦観的ななり手不足が実態だ。
- ・町村議会議員選挙のなり手不足は、議員報酬が少ない、政務活動費がない、住民との距離が近すぎてプライバシーが確保できないなど、議員という職業が嫌悪され、議員として働くことに魅力が感じられないという実態がある。

- 地方議会議員のなり手不足を解消するために、発表していただいたそれぞれの議会での取組みは、なり手不足問題の解決のみならず、議会改革の取組みにもつながっており、市民に議会の活動を知ってもらい、関心を持ってもらうという点においては、大いに参考になった。
- 本市でも近年、市議会議員選挙の投票率が下がり続けており、特に若い世代の皆さんに議会への関心を持ってもらえるよう、高校生や大学生との意見交換会に取り組み始めたが、今後も他市の事例も参考にしながら、より多くの市民の皆さんに関心を持ってもらえるような取組みを続け、今後の投票率の向上につながるよう、引き続き努力していきたいと改めて認識した。

第20回全国市議会議長会研究フォーラム 参加報告書

日 時：令和7年8月27日（水）～8月28日（木）

場 所：【中継会場】札幌パークホテル3F「エメラルド」

8/27 内容①（基調講演）：

- ① 『主権を預かる誇りと責任』・・・伊吹 文明（元衆議院議長）

8/27 内容②（パネルディスカッション）：

- ② 「多様な人材の参画促進の観点から地方議員のなり手不足問題を考える」

【コーディネーター】近畿大学 法学部教授 辻 陽

【パネリスト①】東京大学教授 牧原 出

【パネリスト②】読売新聞東京本社 政治部次長 白石 洋一

【パネリスト③】山口県 宇部市議会議長 山下 節子

【パネリスト④】北海道 札幌市議会議長 長内 直也

8/28 内容③（課題討議）：

- ③ 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

【コーディネーター】関東学院大学 法学部地域創生学科教授 牧瀬 稔

【事例報告者①】長野県岡谷市議会 前議長 今井 康善

【事例報告者②】鹿児島県南さつま市議会 議員 平神 純子

【事例報告者③】石川県白山市議会 議長 中野 進

《所 感・学び》

- ① ・元衆議院議長の伊吹氏による基調講演から受け取った学びは、二元代表制における地方議員の役割は大きく、もっと市長に意見を行っていかねばならないということ。市長のいいなりになって、ただ追随（賛成）するだけの存在なら、議員はいらない、定数を減らすべきだと感じた。

・自分の選挙を支援してくれた、地元の地域住民のための政治政策だけでなく、個人の要望だけでなく、市全体をとらえて全体最適を考えた言動が求められる。時には有権者、支援者を説得する、我慢させることも時に必要であり、それが議員本来の仕事である。

・また、議員を退いたあとの生活の苦しさなどを知っている有権者は少ない。任期中は良くても、退けば、近年は何も保障されていないことを考えると、もっと地方議員の働きやすさの環境も変えていかないと、女性議員や若い世代を代表するような議員が生まれてこない。

- ② ③のパネルディスカッション、課題討議では、2日間にわたり「議員のなり手不足」を主なテーマに開催された。

議員の日常の活動を、市民目線からは、「議員の活動が見えない、魅力を感じない、勉強不足、経験値が足りない、緊張感がない、忖度し、シナリオ通りの議会運営でつまらない」、などの意見があり、一方で議員目線からみた、議員としての自分たちの仕事は、自由裁量制があり働き方は自由であるが、保障面では、国民年金であり報酬をもらってもかなりの額が引かれる、退職金もなし、後継者も不足、たくさんの議員が立候補すれば自分が落選する可能性があるなど、なかなか自ら声を上げにくいリアルな声も聞けた。

佐久市議会の事例として、市民説明会（理解を求める場の設定）があり、そのうえで報酬の引き上げ、議員定数を2名削減するなど改革を進めてきている。

学生に対し行ったアンケートでは、将来議員になりたいという学生が少ないという結果もあり、議員が身近になってない理由として、キャリアデザインの中に職種として入ってないのも理由の一つのようである。

【親がなってほしくない職業】

- ・ YouTuber
- ・ 芸能人
- ・ 議会議員
- ・ 自衛隊

特殊な能力を活かして生死（当落）決まるので、仕事や個人のパーソナルをオープンにする人材になることを親は迷惑に感じているようだ。

こういった、世の中のイメージや、議員として日頃抱えていても声に出すこともできないことを、今回のフォーラムではオープンに共有でき、ありがたいと思うと同時に、議員はもっと正しく理解してもらえるように行動し、正しく発信していくべきだと感じた。

自分自身は、環境が整っているから議員になろうと思って挑戦したわけではない、立場が欲しいからやっているわけでもない、議員としての自分の「信念」をもっとはっきりと周りに伝えて、それに基づいた活動をし、言動を日々発信していくことが重要である。

あらためて、議員定数に関しても、36万人の中核市の長野市は36名定数の議員でいいのか？考えるきっかけをいただいた気がする。

ただし、町村議会のような小さな自治体におけるなり手不足の問題は、無投票選挙にならない長野市（中核市）には関係ないと思った。このテーマで、政令指定都市の札幌市でやったことに少し疑問を感じた。

以上

行政視察報告書 (No.2)

報告者氏名 本木 晋

※視察参加者必須

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
令和7年 8月27～ 28日	第20回全国 市議会議長 会研究フォーラム	第20回全国市議会議長会研究フォーラムに会派6名で参加。 今回のテーマは「地方議員のなり手不足問題の解決に向けて」という事で、各有識者や議員がパネリストとして講演、ディスカッションを行った。 基調講演では、伊吹文明 元衆議院議員議長が地方議員の金銭的課題について半分ほどの時間を費やした。全国市区町村議会が一斉に声を上げ、「議員の(協会)健保や(厚生)年金」加入を進めることで、なり手不足要因の大きな部分を解決できるだろうとの内容。 その為には、全国市区町村議会が地元の国会議員と連携し国会へ声を届けることが重要であるとの強い言葉であったと受け止めた。 初日のパネルディスカッションでは 辻 陽氏 (近大法学部教授) 牧原 出氏 (東大教授) 白石 洋一氏 (読売新聞東京本社政治部次長) 山下 節子氏 (山口県宇部市議会議長) 長内 直也氏 (北海道札幌市議会議長) それぞれの立場から「なり手不足」についてお話があったが、山口節子宇部市議会議長から、伊吹先生と同様の課題を取り上げていたことが印象的であった。 例えば会社員が退職して地方議員になるとしたら、主に3点の「不安」があるとした。 ① 経済的不安 ・家族を養えるか ・国民年金支払い ・選挙資金 ② 老後の不安 ・退職金無 ・国民年金での生活 ③ 議員活動への不安 ・行政、市財政、議会の仕組みなど ・プライバシーや家族の安全 ・古い慣習が残っていないか この不安を取り除く事＝議員になりたい人が立候補しやすい環境づくりであると考え、全国市議会議長会の取組から、 ① 「厚生年金への地方議会議員加入に関する意見書」を可決した。 なお、全国815市区議会中、本年6月時点で553市区議会が可決している。 ② 「議員の在り方検討特別委員会の設置」を行い、「議員のなり手不足」について様々な角度から、以下の対策について検討を行っている。 1：議会・議員活動の情報発信の強化 2：議員報酬等の見直し 3：議員の資質向上

主観として、①については、全国市議会議長会と足並み揃え、長野市においても早急に取り組むべき事案であると考えます。

また、②・1「議会・議員活動の情報発信の強化」では、議会としての動きとは別にして、各議員（各級議員）それぞれが活動の情報開示・発信を行う必要があると考えます。

数多いツールで発信するには費用も時間も限られているため、議員自身が誰に向けて発信したいのかを明確にする必要があることを自覚すべきである。

広報誌を作成して、新聞折り込みして満足しているようでは、②・3「議員の資質向上」には繋がらないと断言する。

情報発信という面では、岡谷市議会の「挑戦」はとても参考になった。

① 議会情報のオープン化

- ・ SNS を活用した広報活動の強化
- ・ 情報の発信（プレス発表の強化）
- ・ 広報機能の充実 ・ 市民と議会とのアクセス手段※ の充実 など

※の一例 「一般質問の傍聴キャンペーン」として



このような新聞広告で一般質問の告知をしていることが興味深い。

一人でも多く議会に興味を持っていただくためにも、一般質問は有効活用すべきと考えているため、是非とも提案していきたいところである。

更に驚いたことは、岡谷市議会は前回が無投票選挙となったことで、議員が選挙で政策を訴える機会がなく、有権者にとって更に議会離れが加速することを危惧し、「マニフェストスイッチ」を導入したことだ。

マニフェストスイッチとは、各議員が

「政治家を志した理由」「地域の在りたい姿」「解決したい課題」などを議会 HP に公開していることである。

総評として、2日間で私が感じたことは、議員一人一人が多くの市民と触れ合い、思いを伝えることが将来的な「議員のなり手不足」解決につながることを再認識したことである。

報告者：西脇かおる

第20回全国市議会議長会研究フォーラム視察報告書

日時：令和7年8月27～28日

会場：札幌市

■第1日目 8月27日（水）

〔主会場〕 札幌文化芸術劇場 hitaru

〔中継会場〕 札幌パークホテル 3F「エメラルド」

◎開会式

●基調講演

『主権を預かる誇りと責任』

*講師 伊吹 文明元衆議院議長

昭和13年京都生まれ。生家は今も続く文久年間創業の室町の繊維問屋。京都大学経済学部卒業後、大蔵省（当時）に入省、英国駐在、蔵相秘書官を経て、昭和58年より衆議院議員（当選12回）。労働大臣、国家公安委員長、文部科学大臣、財務大臣、自民党幹事長、衆議院議長を務める。令和3年9月議員引退。

●パネルディスカッション

「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」

コーディネーター 辻 陽氏 近畿大学法学部教授

パネリスト：

牧原 出氏 東京大学教授

白石 洋一氏 読売新聞東京本社政治部次長

山下 節子氏 山口県宇部市議会議長

長内 直也氏 北海道札幌市議会議長

主催者：議長会会長挨拶

・全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等について情報交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることが目的。

・令和5年の通常国会において、地方議会の役割及び議員の職務等の明確化などを内容とする地方自治法の一部改正法が成立するなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められている。

・若者や女性、会社員など多様な人材の市議会への参画を促し、議会を活性化することは、多くの市議会に共通の緊要な課題。一方、令和5年の統一地方選挙では、無投票当選者の割合が高まるなど、特に小規模市議会における議員のなり手不足が深刻化している。

・今後は、人口減少の加速化や超高齢化の進展などにより、議員のなり手不足が多くの人に広がることが懸念されており、多様な人材の市議会への参画を促す対策は、議員のなり手不足を克服する一助にもなると期待されている。

・各市の実情を踏まえ、主体的・持続的な議会改革を進め、それぞれ市の最高意思決定機関として、市民にとって魅力ある議会をつくる必要がある。

■第2日目 8月28日（木）

〔主会場〕札幌文化芸術劇場

〔中継会場〕札幌パークホテル 3F「エメラルド」

* 課題討議 *

「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」

コーディネーター 牧瀬 稔氏 関東学院大学法学部地域創生学科教授

事例報告者： 今井 康善氏 長野県岡谷市議会前議長

平神 純子氏 鹿児島県南さつま市議会議員

中野 進氏 石川県白山市議会議員

◎閉会式

《所 感》

全国的に地方議会議員のなり手不足が顕著となっており、特に人口減少・高齢化が進む地域では、無投票当選や候補者不在といった事態も発生している。

議員の担い手を確保、なり手不足の解消には「経済的基盤の安定」と「やりがいの発信」の両輪が欠かせないということを再認識した。

現状では仕事量や責任に比して十分とはいえない自治体が多く、特に若い世代や子育て世代には参入障壁になっているため報酬の適正化が必要という考えが多い。

議員年金の復活をすることで将来の不安が軽減され、長期的に議員を志す人材を呼び込む効果があると思われるが復活は至難の業。

やりがいの発信については、議会での質疑・政策提案がまちづくりにどう結びついたか、成果をわかりやすく市民に伝える議員の活動の見える化は重要だが、自分自身難しいと感じる取り組みが必要。また子育て世代や民間出身者など、さまざまなバックグラウンドの議員が活躍している姿を発信すること。

議会インターンシップ、議会公開イベント、模擬議会などを通じ「自分もできるかも」と思ってもらう参加のハードルを下げる工夫が必要。

議員報酬の低い自治体は「議員の生活を支えられる環境を整えること」が最も重要であり、「地域を変える喜びや達成感を伝えること」この両面で取り組むことが、なり手不足解消の鍵になると思われる。本市は様々に恵まれていると感じたが、投票率の低さは問題であり、将来的に本市もなり手不足の問題がおこることが予想できるため、市政への関心を寄せていただけるよう、引き続き広報広聴活動に注力した取り組みが今後も重要である。

行政視察報告書 (No. 2)

報告者：松田光平

『第20回全国市議会議長会研究フォーラム』(札幌市)

日時：令和7年8月27日～28日

8月27日

◆基調講演

伊吹 文明氏

(元衆議院議長)

議員の皆様にお話したいのは、議員を終えたあとの処遇が問題だということと、市議会と市長の二元代表制における良好な関係を築くこと。自治の基本は、自分たちが決めた事を自分たちで行うことであり、昔は庶民・農民が働き、庄屋が庶民を代表して御殿様との交渉をしていたし、商業は講を作って交渉していた。堺市では商業者だけで決めて、大名の領地の中だけで決められた法律があった。

大日本帝国憲法時代の主権は天皇で、民主国家として知られる英国も同様に王制国家。県知事や市長は主権者である天皇の命により着任するので、市議会議員が市長を監視する事はなかった。

戦後の日本国憲法はアメリカ管理の中で制定されたが、主権が民になり、国民から選ばれた衆議院と参議院が国の行政の長である首相が提出した予算や法案を審議し、法案が否決されるなどの事態に対し不信任案が出され、憲法六十九条 内閣不信任案が通れば首相は主権者である国民に信を問うため、解散して国民によって審判を行う事が定められている。他にも、憲法七条には天皇が解散できると定められているが、行政側の都合だけで解散をすることは慎まなければならない。

小泉首相が郵政解散を行ったが、七条解散の乱用は良いのかと議論が起こった。その後内閣に対して議員が萎縮する事態となっていて、自由に意見をいえない状態とを感じる。解散権をむやみに行使することは許されない。

国と違って地方議会は市長と議員それぞれが市民の選挙により選ばれ、二元代表制の中で行政側も国ほど強い利権を持たず、市長との関係性を良好にすることが地方議員の課題だ。

中選挙区のときには、中選挙区内の2割を取れば当選できたため、自民党の中でも保守からリベラルまで意見を持つ議員がいた。小選挙区では5割を取らないと当選できないので、自民党議員は首相の意に反する意見が言いにくくなっている、ワンイシューの政党が当選しやすくなっているのが今回の参議院議員選挙にもみられた。

二元代表制メリット・地方自治法により地方議員の行動は規定しているので、議会が不信任を出して市長が解散しても、議員が再当選しても、市長は再度解散することもでき、首長が絶対的権限を持っている。

地方自治法の改正ではなく、憲法によって地方行政に関しても改革すべきだ。

二元代表制での地方議会は、市長を選ぶ権利はない。議員は各地域から選ばれ地域の課題解決をするが、平等に地域の開発がされないときには市長をやめさせる権利がない。市長と同格に二元代表制で選ばれた議員が議員をやめたあとの処遇を良くしないとだめ、保証を行うべき。地方議員の退職後の処遇を考えないと議員のなり手不足は続く。議員の報酬や厚生年金への加入を議論すると税金を使うと批判が起きるが、議会関係の予算は国からきている交付税で賄われていることを明確にして、議員として誇りを持って正しいことを主張し、職務を率先して果たすことが大切だ。

8月27日
パネルディスカッ
ション

第三十三次地方制度調査会から「多様な人材が参画し住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策」に関する答申が2022年度に出され、勤労者等の立候補環境整備が求められている。一方、投票率は減少し、地方議会での無投票当選の割合が上昇している。なり手不足解消のためには、若者、女性、会社員などが立候補しやすい環境整備と議員定数および議員報酬のあり方、議員職務の明確化の三点が論点。

職場で立候補休暇、議会での会議規則に育児や介護の取り扱いを明記し、夜間休日などの議会開催など柔軟な取り組みが必要。技術の発達が著しい昨今、議員の情報リテラシーに対する意識改革は不可欠であるが、一方、慎重に変化する自治体の法務リテラシーとは逆の方向性。

議員意識改革と議員の働き方改革が必要。議員は365日、24時間体制での職務であり専門化が必須な状況。オンライン利用や育児休業制度、立候補休暇などの整備を検討すべき。

議員になることの不安 ①経済的不安②老後の不安③議員活動値の不安などがある。家族を養える収入が確保できるか、4年に一度の選挙費用は貯まるか。退職金がなく年金も国民年金で老後不安がある。

議員の個人情報公開で家族が誹謗中傷を受ける不安がある。主権者教育も不可欠。子供議会の開催や小学生向けのホームページを作成するなど議員の仕事を正しく理解できる情報発信が大切。

8月28日

●課題討議

平成 23 年に議員年金が廃止され、新たな地方議員への年金制度として厚生年金に加入することを 1 年程度で検討するとしていたが、政府は未だに制度を検討していない。815 議会中 554 市、68%の市議会において国への意見を出しているが、すべての市で意見書提出をお願いしたい。

<<考察>>

議員の厚生年金加入は早急に意見書を提出し国への要望活動を積極的に行うべき。今回の研修で、地方の格差が大きく、課題解決には様々な取り組みを組み合わせながら進める必要がある。

長野市の課題としては、働き方改革の必要性を感じた。育児所の新設や介護・育児休暇制度、市域が広くなり登庁時間格差解消のためにオンライン議会の推進などは検討すべき事項であると考える。

一方、休日夜間議会に関しては、市職員の働き方改革面でも慎重に行うべきと考える。

SNS 選挙などの新たな手法により、選挙や議員活動においても誹謗中傷合戦となる状況が想定されるため、立候補する本人や家族の安全確保のためにも、選挙における一定の制約をすべきではないだろうか。

新友会

寺沢さゆり 会長

報告者：市川 和彦

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌 参加報告書

令和7年8月27日(水)～28日(木)、北海道札幌市の札幌文化芸術劇場 Hitaruにて、第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌が開催され、参加した所感を報告します。

テーマ「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」

全国市議会議長会は、北海道から沖縄県まで、全国47都道府県の市と東京都の特別区を合わせて815団体の議長により構成される組織。昭和7年の設立以来、各市議会共通の課題解決に向け、一致結束して取り組んでいる。

我が国は、人口減少・少子高齢化の加速やデジタル技術の進化などにより、経済・社会・地域の構造変化に拍車がかかっている状況にあり、東京一極集中により、過疎、過密によって、東京と地方、双方の豊かな生活環境が失われることが危惧されている。

このため、どこに住んでいても、その地域の魅力を享受しながら、豊かに暮らせる日本を作っていくべきであり、真の多極分散型社会を確立していく必要が有るとされる。

また、社会経済の急速な構造変化を背景に、地方自治体の重要な意思決定を行う市議会には多様化する民意の集約と市政への反映が期待されており、住民とのコミュニケーションを深めながら、監視機能・政策形成機能の強化、デジタルへの対応などに取り組んでいく必要が有るとの報告が有った。

一方、小規模市議会で深刻化している議員のなり手不足が多くの市に広がるものが危惧され、議長会は、議員のなり手不足解消に向け、地方議会に対する住民の理解と関心を深められるよう主権者教育を一層推進するとともに、会社員が立候補しやすい環境を整備するため、厚生年金への地方議会議員の加入を目指している。

こうした諸課題の解決に向け、全国815市区の議会が一緒になって、いわば、『日本一丸』とでもいう気概をもって邁進して行く必要があるとされた。

また、記念講演で、伊吹文明元衆議院議長は「地方議会の議員の存在意義、

責務、住民との関係などを強調し、戦前の天皇主権から戦後に主権在民となった大転換、民主主義と二元代表という自治制度の意味から、主権を預かっている誇りと自負をもって住民のために働いてほしい」とし、そのためには「ふさわしい処遇が必要で、報酬のあり方、退職金議員年金無しの支え無き現在の処遇では、志の高い議員となって政治に入ってくる人材は確保できない。」とした。

議員定数、地方自治体の財政力との関連、立候補休暇制度、兼職規定の拡大、議会の育児、介護休暇制度、地方公務員共済年金への議員の加入など具体的な諸課題も俎上に上っていた。

パネルディスカッションでは、『多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える』をテーマに、近畿大学教授の辻陽氏をコーディネーターに4人のパネリストで行われ、「われわれ市議会は、それぞれの地域の実情を踏まえ、主体的、持続的な議会改革を進め、それぞれの市の最高意思決定機関として、市民にとって魅力ある議会にしていける必要性」を論じられていた。

- ・ 多様な人材が参画しやすい環境整備（報酬見直し、ICT活用など）
- ・ 選挙制度（公費負担など）の見直しによる立候補環境の改善
- ・ 市民から「何をやっているか分からない」と思われたいための情報発信強化
- ・ 議員は常に研鑽し、政策提言を行う責任を果たすべき
- ・ 「おかしいことをおかしいと言わない議会」、いわゆる「忖度議会」が魅力を損ねている、との意見も有った。

【所 感】

地方議会が抱える構造的な課題を浮き彫りにした今フォーラムは、長野市としては喫緊の情勢と認識する部分はあるが、将来的人口減少時代到来時に長野市議としても現実的課題として証する可能性があり、議員一人ひとりの責任、そして議会改革の必要性を改めて認識させられた。

議員のなり手不足に関連し、近年、ユーチューバー議員の広がり、過去の経過なり現実を知らずして後押しし、その時々で思いで手上げをする現実がある。

ただ、発信力の高さがポピュリズムにつながる懸念もあると思われ、政策重視の選択が必要と感じる。

また、迷惑系 SNS もクローズアップされてきており、懸念として発信力が強いのは諸刃の剣で、政策を多くの人に伝えられる一方、間違った情報を伝える SNS 議員が増えると有権者を混乱させるとの思いもあった。

以 上

第20回

全国市議会議長会 研究フォーラム



National Association of Chairpersons of City Councils

開催のご案内

▶参加申込み期間

[議長を含めたすべての対象者のお申込み]

令和7年5月26日(月)10時00分～6月6日(金)17時00分

開催日：令和7年8月27日(水)・28日(木)

場 所：札幌文化芸術劇場 hitaru

[中継会場] 札幌パークホテル3F「エメラルド」

主催：全国市議会議長会 後援：総務省（予定）

協賛：全国市議会議員互助会（予定）、（有）都市企画センター（予定）

実施：第20回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会



本研究フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行い、地方分権の時代にふさわしい議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的に、平成18年度から、新型コロナウイルス感染症の感染拡大期を除き毎年開催してまいりました。

第20回目となる今回は、北海道札幌市において、令和7年8月27日(水)、28日(木)の2日間にわたって開催することとなりました。

さて、令和5年の通常国会において、地方議会の役割及び議員の職務等の明確化などを内容とする地方自治法の一部改正法が成立するなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められています。

若者や女性、会社員など多様な人材の市議会への参画を促し、議会を活性化することは、多くの市議会に共通の緊要な課題であります。一方、令和5年の統一地方選挙では、無投票当選者の割合が高まるなど、特に小規模市議会における議員のなり手不足が深刻化しております。

今後は、人口減少の加速化や超高齢化の進展などにより、議員のなり手不足が多くの市に広がることが危惧されており、多様な人材の市議会への参画を促す対策は、議員のなり手不足を克服する一助にもなると期待されております。

このため、我々市議会は、各市の実情を踏まえ、主体的・持続的な議会改革を進め、それぞれ市の最高意思決定機関として、市民にとって魅力ある議会をつくる必要があります。

そこで、今回のフォーラムでは、「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」をテーマとし、各市における地方議会議員のなり手不足問題に係る事例を検証するなど、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望します。

各方面からお招きする講師の方々をはじめ皆様方から活発なご意見をいただきながら広く討議し、山積する課題解決の一助となるような有意義なフォーラムにしたいと考えております。

多くの皆様方の積極的なご参加を、心からお待ちしております。

令和7年5月

全国市議会議長会

◆ 開催概要



日 時	第1日目：令和7年8月27日(水) 13時00分開会（受付開始・開場11:30） 第2日目：令和7年8月28日(木) 9時00分開会（開場8:30）
場 所	フォーラム会場：札幌文化芸術劇場 hitaru 北海道札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ4F [中継会場] 札幌パークホテル 3F「エメラルド」 北海道札幌市中央区南10条西3丁目1番1号 意見交換会会場：札幌パークホテル B2F「パークプラザ」 北海道札幌市中央区南10条西3丁目1番1号 ※会場等へのアクセスについては、P.7「会場へのアクセス」をご参照ください。 ※フォーラム当日の中継映像は中継会場である札幌パークホテル 3F「エメラルド」以外ではご覧頂くことができません。
主 催	全国市議会議長会
後 援	総務省（予定）
協 賛	全国市議会議員互助会（予定）、（有）都市企画センター（予定）
実 施	第20回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
テ ー マ	地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて（仮）
定 員	2,500名 ・ 申込者が定員を超えた場合は、抽選を行います。 ・ 申込時に「議長優先」を選択した議長については抽選を行わず会場での参加が確定となります。それ以外の申込者については、抽選により「参加（会場）」「参加（中継会場）」「キャンセル待ち」を決定します。 ・ 議会事務局職員の申込みについては、各市区につき1名のみとさせていただきます。 ・ 会場及び中継会場のお席については、全席指定席とする予定です。 ※詳細は、P.8～P.10「参加申込のご案内」をご参照ください。
参加費	1人 9,000円



お問い合わせ先

運営について

全国市議会議長会 企画議事部 担当：益子・北村・三関・菊地
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館6F
TEL：03-3262-2309

参加申込システム・視察・宿泊・精算について

株式会社JTBBジネストランスフォーム
「第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌」係
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル6F
TEL：03-5949-1347 FAX：03-5396-8140
Eメールアドレス：forum@jbx.jtb.jp
営業時間：10時00分～17時00分（土・日・祝祭日は休業）

●参加・視察・宿泊のお申込み

P.8～ P.10「参加申込のご案内」をご参照の上、参加受付用ホームページ（JTB）からお申込みください。参加受付用ホームページのURLは全国市議会議長会ホームページ内研究フォーラム専用ページに掲載しています。

全国市議会議長会研究フォーラム専用ページ
URL：<https://www.si-gichokai.jp/forum/>

＜専用ホームページでお申込みができない方＞

規定等によりホームページでお申込みができない方に限り、Eメールでお申込みを受け付けます。全国市議会議長会ホームページ内研究フォーラム専用ページにある「Eメールによる参加申込み及び申込期間終了後の変更・取消について」をご参照の上、様式1の「参加申込書」を株式会社JTBBジネストランスフォームまでEメール（forum@jbx.jtb.jp）にてご送付ください。

パスワード：forum2025

※郵送、電話、FAXによるお申込みはお受けしていません。

◆ タイムスケジュール



第1日 8月27日(水)

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru [中継会場] 札幌パークホテル 3F「エメラルド」

- 11:30 受付開始・開場
- 13:00 開会式
- 13:20 基調講演
「主権を預かる誇りと責任（仮）」
伊吹 文明 元衆議院議長
- 14:20 休憩
- 14:40 パネルディスカッション
「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える（仮）」
コーディネーター 辻 陽 近畿大学法学部教授
パネリスト 牧原 出 東京大学教授
白石 洋一 読売新聞東京本社政治部次長
山下 節子 山口県宇部市議会議員
長内 直也 北海道札幌市議会議員
- 16:40 次期開催地挨拶
- 16:50 終了・移動
- 18:00 意見交換会
[札幌パークホテル B2F「パークプラザ」]
- 18:45 意見交換会終了

第2日 8月28日(木)

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru [中継会場] 札幌パークホテル 3F「エメラルド」

- 8:30 開場
- 9:00 課題討議
「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告（仮）」
コーディネーター 牧瀬 稔 関東学院大学法学部地域創生学科教授
事例報告者 今井 康善 長野県岡谷市議会前議長
平神 純子 鹿児島県南さつま市議会議員
中野 進 石川県白山市議会議員
- 11:00 閉会式
- 11:30 視察

※登壇者は、変更になる場合もございます。